

平成23年11月11日

杉並区議会議長
藤本 なおや 様

道路交通対策特別委員会
委員長 北 明 範

道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

平成23年9月26日 報告聴取

2 活動経過

以下のとおり4件の報告を聴取した後、質疑応答を行った。

(1) 東京外かく環状道路について

外環本線については、国が、事業概要等をパネルや模型を用いて説明するオープンハウスを7月に沿線地域5カ所で順次開催した。杉並・武蔵野地域においては7月25日に武蔵野市立本宿小学校で開催され、今年2月に公表された費用便益比の総点検の結果等の情報提供と説明が行われた。費用便益比の算出根拠の一つである外環周辺道路や高速道路の交通量予測結果や費用便益の分析結果等が示されたとのこと。

外環の地上部街路（外環の2）については、都が、7月27日に第1回杉並区における外環の地上部街路に関する話合いの会を開催した。構成員は、公募の地域住民、計画線にかかる町会・商店会の代表、外環のPI委員、都・国・区の職員で総計28名。都から、東京の都市計画道路の概要、地上部街路の概要の説明後、都市計画決定の経緯、外環本線と地上部街路に関するこれまでの経緯についての質疑があったとのこと。

(2) 放射第5号線について

都は、「放射第5号線事業推進のための検討協議会」から平成19年5月に提出された岩崎橋付近を立体交差とする一部トンネル案を基本的な道路

構造とする提言を受けて以来、検討や調査を行ってきた。このたび、都は岩崎橋付近の道路構造について平面で整備することとし、8月26日付けで区長あてに通知があった。この通知の写し及び「三建・放5ニュース」第6号は区担当が、8月29日付けで区議会議員全員に送付した。都は、道路構造についての説明会を9月25日、26日の2回開催することとし、9月25日に開催された説明会では、これまでの経緯や、「放射第5号線事業推進のための検討協議会」の提言に関する検討、道路構造決定の理由、平面構造での整備にあたり配慮する事項などの説明と質疑応答が行われたとのこと。

(3) エイトライナー促進協議会の活動について

エイトライナー促進協議会第18回総会が7月27日に開催された。平成22年度活動実績報告、平成22年度歳入歳出決算報告、平成23年度事業計画、平成23年度歳入歳出予算の4議案を審議し、了承された。

また今後の課題として、事業の採算性向上において無償資金7,400億円が必要であること、さらなるコスト縮減や事業主体の確立に向けた検討、他路線への乗り入れ等の課題の整理を行っていかねばならないことが提示されたとのこと。

(4) 第28回駅前放置自転車クリーンキャンペーンの実施について

このキャンペーンは昭和59年から都内全域で毎年10月下旬に開催している。これまで、自転車駐車場の整備、放置自転車の撤去、放置防止の啓発活動に取り組んできた結果、通勤通学の放置自転車は大きく減少したが、午後3時から5時ころまでの買い物客の放置自転車が目立ってきた。このため、主に買い物の時間帯にキャンペーンを重点的に実施することとし、10月24日から31日までの期間の中で計7回予定しているとのこと。

以上